

日ごころの対策

① 家庭の防災点検

各家庭の雨戸や雨どいなどが傷んでいないかなど点検・整備し災害時に備えましょう。



② 避難場所を確認

もしものときの家族の役割分担や避難場所の確認など、防災についての事前の話し合いが家族の安全を確保します。



③ 非常時に持ち出すものを確認しておく

避難するときは荷物を必要最小限とし、子供や高齢者の方への配慮を忘れずに、事前に準備しておきましょう。



④ お年寄りなどに気配りを

普段から地域のお年寄りや病気の方たちに気配りが必要です。



避難時の心得

① 安全な避難経路の確認を

避難所までの避難経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



② 正確な情報収集と自主的避難を

防災行政無線・テレビ・ラジオ・インターネット等で正しい情報を確認しましょう。雨の降り方や土砂災害の前兆現象などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



③ 災害時要援護者の避難に協力しましょう

心身に障害のある方、高齢者、小さな子どもなどの災害時要援護者の方は、危険の判断や移動が困難なため、特別な配慮が必要です。協力しあって避難を支援しましょう。



④ 動きやすい服装、2人以上で避難

避難するときは、動きやすい服装で。2人以上で避難を心がけましょう。単独行動を取らないようにしましょう。



⑤ 危険な箇所に注意

橋やため池、土砂災害危険箇所は避けて避難しましょう。



⑥ ただちに避難しましょう

避難勧告などは、危険が迫ったときにでするので、避難先や避難経路などの情報に注意し、ただちに避難しましょう。

